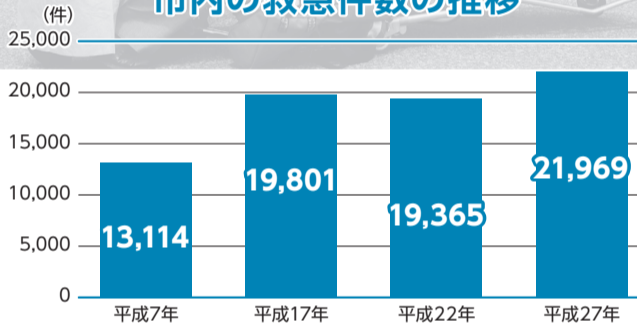


- 庭先から広がる交流の輪 …… 2面
- いちかわ市民まつり参加申込説明会 …… 3面
- 食から広がる健康ライフ …… 4-5面
- あなたの産後をサポートします …… 6面
- 年金生活者等支援臨時福祉給付金 …… 7面
- 花火大会有料観覧席市民限定発売 …… 8面

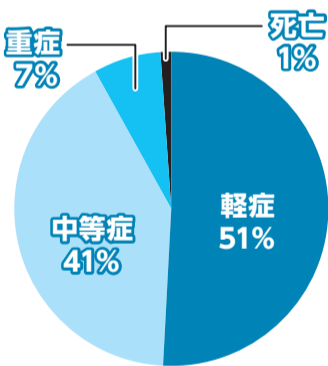
防災行政無線テレホンサービス ☎0180-994-889
 放送の内容が聞こえなかった時や確認したい場合にご利用ください。ただし、利用には通話料がかかります。(地域防災課)



市内の救急件数の推移



傷病程度の割合 (平成27年)



▲救急車の到着を必死の思いで待っている人がいます。

全国的に救急車の出動は増加しており、本市でも昨年は2万1969件の救急出動がありました。市では各消防署・出張所に計11台の救急車を配備していますが、同時時間帯に複数台が出動していることも多く、現場への到着に要する時間が延びています。病院搬送者は、全体の51%が入院を要しない軽症となっていることから、消防局では「救急車の適正利用」をお願いしています。もちろん、激しい頭痛や胸痛、意識障害など、一刻を争う場合は、救急要請が不可欠です。夏を迎え、熱中症による救急要請が増える時期ですが、限りある救急車の適正利用にご協力ください。

消防局救急課

消防局から

安全・安心を守る消防にご理解を



消防局長 高橋 文夫

昨年は過去最高件数となりました。これらを踏まえ、消防局では傷病者受入体制の充実強化や救急車適正利用の啓発などに積極的に取り組んでいるところです。市民のみなさまにおかれましては、暑さも厳しくなり、熱中症が多発する時期ですので、小まめに水分補給をするなど、熱中症には気を付けてお過ごしください。

早く現場に到着して傷病者を安心させたい

救急件数はここ最近、増えていると実感しています。近くの救急隊が出動中で、現場到着まで時間を要してしまう時に、「早く行って、安心させたい」というもどかしさを感じます。傷病者や、家族の方にお礼の言葉をいただいた時は、うれしいですね。

東救急隊 消防司令補 堤 浩一



現場隊員だったからできること

4月からは現場を離れ、普及啓発活動を行っています。救急現場で「もう少し早かったら」という経験があったので、救急車の適正利用を市民のみなさまにご理解いただけるようないろいろな機会を捉え、尽力していきます。

救急課 消防司令補 猿田 力也



あんしんホットダイヤル
 ☎0120-241-596

24時間
 年中無休

急な病気などでお困りの際は、あんしんホットダイヤルをご利用ください。医師、看護師、保健師などが市民の相談に対応します。